

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 持続する観光振興策を	女川の観光名所と言えば、ゆぼっぼやシーパルピアの駅前商店街を連ねた道の駅おながわだと思います。5月の連休には沢山の観光客でにぎわいをみせていましたが、連休明け、特に平日などは数えることができるくらいの観光客数です。これが道の駅おながわの集客力というのであれば、今後は在り方、やり方を考えていかなければ何も変わりません。 休日、平日を問わない持続する観光振興策をテナントの方々、みらい創造、商工会、観光協会などと協力し考えなおすことが重要だと思います。 (1) 道の駅おながわはこのままで良いと思いますか。 (2) 女川の自然環境を活かせるアドベンチャートラベルなど新たな旅のスタイルを取り込み、観光需要を創出する必要があると考えますが、現状と取組について伺います。 (3) 以前から、ゆぼっぼ足湯が雨や雪の度に使用できないと利用者から苦情があります。 透明カーポートのような簡易な囲いを考えてはいかがですか。 (質問の相手：町長・担当課長)

質問者 宮 元 潔

質問事項	質問の要旨
2 スポーツ施設の開館時間の拡大を	(1) 総合運動公園施設全体の休業日は年間何日で、一日の開館時間中はどのように運営しているか伺います。
	(2) 総合体育館等の日曜日夜間の利用希望はありますか。
	(3) スポーツ施設の休業日で、月曜日が祝日等の場合、次の日の火曜日が休業日になるという条例に基づいた運営を行っていますが、指定管理者制度を導入したこともあり、利用者ニーズに合わせたサービスの観点から、休業日の見直しを求めます。
	(質問の相手：教育長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 最終処分場文献調査 受入れを	佐賀県玄海町は、日本における原子力発電所の立地自治体の一つです。最近の5月10日に高レベル放射性廃棄物（通称「核のゴミ」）の最終処分場選定に向けた「文献調査」を受け入れることを表明しました。この文献調査は全国で3例目（神恵内村、寿都町）であり玄海町は原発立地自治体としては初めての取組です。
	（1）玄海町の受入れに対する見解を伺います。
	（2）今後女川町も高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定に向けた「文献調査」を受け入れる考えはありますか。
	（質問の相手：町長・担当課長）